

# 外国人住民と社会統合に関する国際シンポジウム

— 国際的経験の共有と、地域における日系ブラジル人住民の課題を中心にして —

日時

2008年3月25日(火) 9:30～16:40

会場

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」  
11階 会議ホール・風

主催

外務省・静岡県・国際移住機関 (IOM)

日本に滞在する外国人は、近年、増加の一途を辿り、2006年末には208万人に達し、経済のグローバル化の中で今後も増加していくものと予想されます。また1990年代以降急速に増加している日系人の方々は、今や多くの地方都市で欠かせない働き手となっており、家族を呼び寄せ、定住する傾向が強まっています。

一方、これら外国人の方々の間では、不安定な雇用、社会保険への未加入、不十分な日本語習得等多数の問題が発生しています。また、外国人の方々と地域社会との間には、言葉や習慣等の違いから、軋轢、摩擦が生じている場合が少なくありませんし、地方都市の中には地域社会から孤立した日系人コミュニティが形成されているところもあります。このため、これら外国人の方々の受入れのあり方について様々な議論が活発に行われています。

欧州諸国においても、移民の受入れのあり方について議論が行われており、移民のもたらす文化的多様性を尊重しつつ、社会の一員として、受入れ社会の文化（言語を含む）への適応を求める社会統合政策が、近年、より一層重視される傾向にあります。

来る3月25日(火)、外務省と静岡県、国際移住機関 (IOM) は「外国人住民と社会統合に関する国際シンポジウム」を静岡市で開催します。何が日本人と外国人との共生を進める上で障害となっているのか、グローバル化が進む中で、日本人は急速に増加する外国人住民とどのような関係を築いていけばいいのか、日本に相応しい外国人の受入れとはどのようなものか等について、会場の皆様と一緒に議論します。

第1セッションでは、「多文化主義」、即ち、受入社会が移民の文化（言語を含む）の維持を幅広く奨励・支援していくとする受入れ政策の考え方を取り上げ、多文化主義的な受入れ政策を実施している欧州諸国の事例を交えつつ、その考え方や直面している課題について議論を深めます。

第2セッションでは、今年が日本人のブラジル移住百周年にあたることから、日系ブラジル人と社会統合を取り上げ、日系ブラジル人を中心とする多数の外国人住民が暮らす静岡県の現状と取組みの経験も踏まえつつ、在日日系ブラジル人が直面している諸課題への効果的な処方箋等を考えます。

皆様のご参加をお待ちしております。

## プログラム (予定) 日・英・ポルトガル語同時通訳付 以下、敬称略

午前の部 9:30～13:00

### 開会の辞

木村 仁 (外務副大臣)  
石川 嘉延 (静岡県知事)

### 基調講演

石井 米雄 (人間文化研究機構機構長)  
ブランソン・マッキンレー (IOM 事務局長)

### 第1セッション 多文化主義の現状と課題

モデレーター  
山脇 啓造 (明治大学商学部教授)

### 報告

イエロエン・ドームルニク  
(オランダ・アムステルダム大学移住・民族研究所上級研究員)  
ヨナス・ドール (スウェーデン移住庁職員)  
手塚 和彰 (青山学院大学法学部教授)  
(休憩)

### パネル討論および質疑応答

イエロエン・ドームルニク  
ヨナス・ドール  
手塚 和彰  
大澤 真幸 (京都大学大学院人間・環境学研究科教授)  
脇阪 紀行 (朝日新聞社論説委員)

(昼食)

午後の部 14:10～16:40

### 第2セッション 日系ブラジル人と社会統合

(子どもの日本語学習支援、大人への言語支援・住宅支援等外国人住民への生活支援、企業責任、外国人住民の社会参加等)

### モデレーター

池上 重弘 (静岡文化芸術大学文化政策学部准教授)

### 報告

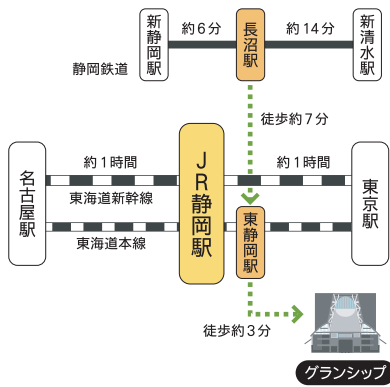
鈴木 望 (磐田市長)  
津村 公博  
(浜松学院大学現代コミュニケーション学部准教授)  
柳瀬 フラヴィア 智恵美 (国際基督教大学学生)  
(休憩)

### パネル討論および質疑応答

津村 公博  
石岡 修 (ヤマハ発動機株式会社  
「IMカンパニー」事業推進部部長)  
井上 洋 (日本経済団体連合会産業第一本部長)  
スガハラ・ユウゾウ (湖西市汐路町町内会副会長)  
二宮 正人 (ブラジル・国外就労者情報援護センター理事長)

### 閉会の辞

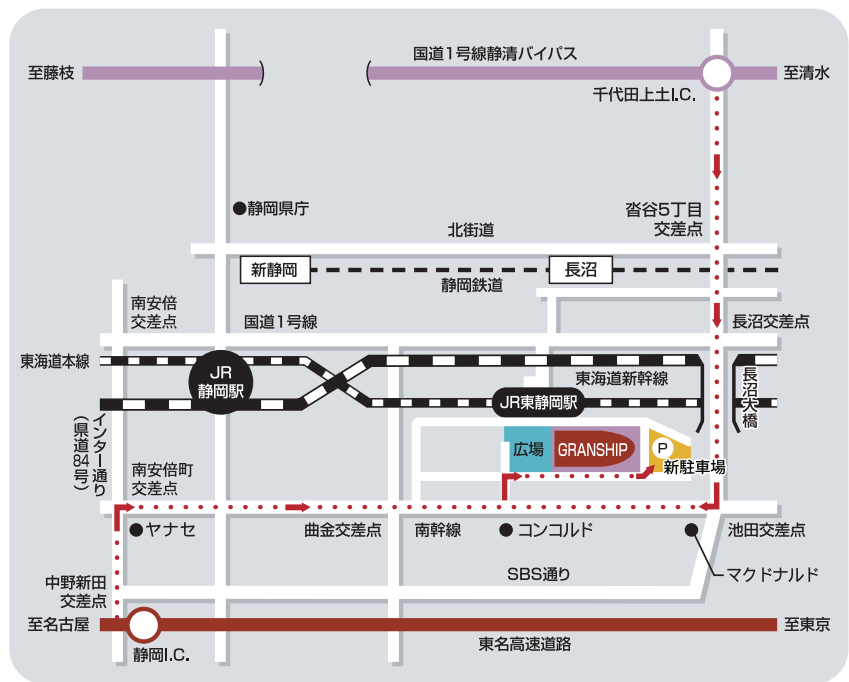
外務省



一般有料駐車場は、普通乗用車360台(うち車椅子使用者用6台)がご利用いただけますが、催事の開催状況によっては満車となる場合があります。近隣には他の駐車場がほとんどありません。公共の交通機関をご利用くださいようお願いいたします。



静岡県コンベンションアーツセンター GRANSHIP  
 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田 79-4  
 TEL 054-203-5710 (代表) FAX 054-203-5716  
<http://www.granship.or.jp/>



- お車で越しの場合 東名高速道路 静岡IC.から6km、車で約20分。 静清バイパス 千代田上土IC.から4km、車で約10分。
- JRをご利用の場合 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間、静岡駅下車。東海道本線下り方面に乗り換え、東静岡駅まで約3分。東静岡駅南口に隣接、メインエントランスまで徒歩約3分。
- 静鉄をご利用の場合 静岡鉄道 新静岡駅から6分、新清水駅から14分。長沼駅下車。JR東静岡駅コンコース通過、南口出口まで徒歩約7分。メインエントランスまで徒歩約3分。

● 手話通訳・託児を行います ●

参加申し込み 申し込み期限 2008年3月14日(金)

参加ご希望の方は、下記のIOM 駐日事務所ウェブサイトからお申し込みください。できるだけウェブサイトからのお申し込みをお願い申し上げます。

申込先ウェブサイト→ <http://www.iomjapan.org/news/symposium2008.cfm>

- ★会場近辺には飲食店が少ないことから、ご希望の方にはお弁当の販売をご案内しますので、希望の有無もお知らせください。(お弁当・お茶付き 700円)
- ★託児をご希望の方は、3月5日(水)までに静岡県多文化共生室へご相談ください。

FAXによるお申し込みもできます。下欄にご記入の上、下記申込先にお送りください。

FAXによる申込先→ 054-221-5516

ふりがな お名前	
ご所属	
部署・役職	
お弁当 購入希望	有 ・ 無
居住都道府県 ・市町村名	
ご連絡先	Tel: Email: ※今後メールなどで主催者より関連イベントや活動報告などのご案内をお送りしてもよろしいですか。 はい いいえ

- ※お申し込みの際にご記入いただきました個人情報 は、適切に管理し、本シンポジウムの運営のために使用します。
- ※お申し込みを受け付けた旨の連絡は致しておりませんので、予めご了承ください。
- ※座席の都合上、当日来場者多数となった場合には、お立ちになっての聴講となりますので、予めご了承ください。

シンポジウムに関するお問い合わせ

国際移住機関 (IOM) 駐日事務所  
 〒105-0001  
 東京都港区虎ノ門 1-1-12 虎ノ門ビル 8階  
 Tel. 03-3595-2487  
 (土日・祝日を除く午前10時~午後5時)  
<http://www.iomjapan.org>

★ただし、会場、託児、静岡県についてのお問い合わせは、下記にお願いします。  
 静岡県多文化共生室  
 〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6  
 Tel. 054-221-3316  
 E-mail. tabunka@pref.shizuoka.lg.jp